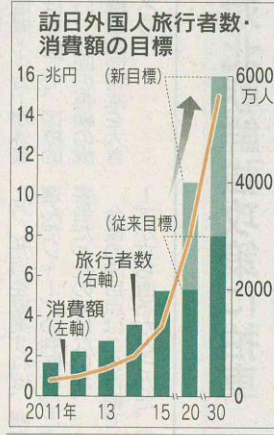


訪日客、20年に400万人

政府が倍増目標 消費額8兆円

政府は30日、訪日外国人3面きょうのことばの拡大策を考える「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議」（議長・安倍晋三首相）で示した。5面に）

15年の訪日客数は14年比47%増の1973万人と増えおり、従来の目



政府は30日、訪日外国人3面きょうのことばの拡大策を考える「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議」（議長・安倍晋三首相）で示した。5面に）

標の「20年に2000万人、30年に3000万人」を大幅に引き上げた。訪日客の恩恵を地方に広げる目標も設けた。地方の外国人延べ宿泊者数を30年に1億3000万人と15年の5倍超に設定。何度も訪れる外国人リピーター数は30年に3600万人と15年の約3

倍に増やすとした。訪日観光客の消費額を20年に15年の2倍超の8兆円、30年に15兆円にする目標も掲げた。15年は3兆4771億円で、外貨の稼ぎとしては自動車部品の輸出額に並ぶ。20年目標の8兆円は化学製品の輸出額を上回り、12兆円の自動車の輸出額に

次ぐ存在になる。ただ現状では国内総生産（GDP）比でみた観光消費額は欧米に見劣りし、成長の余地がある。首相は会議で「観光はGDP600兆円に向けた成長エンジンだ。新目標に挑戦し、観光を基幹産業に成長させる」と意欲を示した。

課題は宿泊施設などの受け入れ態勢だ。都市部のホテルは取りにくく、地方に多い旅館は外国人への対応が遅れている。菅義偉官房長官は30日の記者会見で、マンシヨンなどの民泊について「現在の枠組みにとらわれず様々な対応策を考えていきたい」と述べた。